

I 日本赤十字社徳島県支部事務局

I 日本赤十字社徳島県支部

I 支部事務局の概要

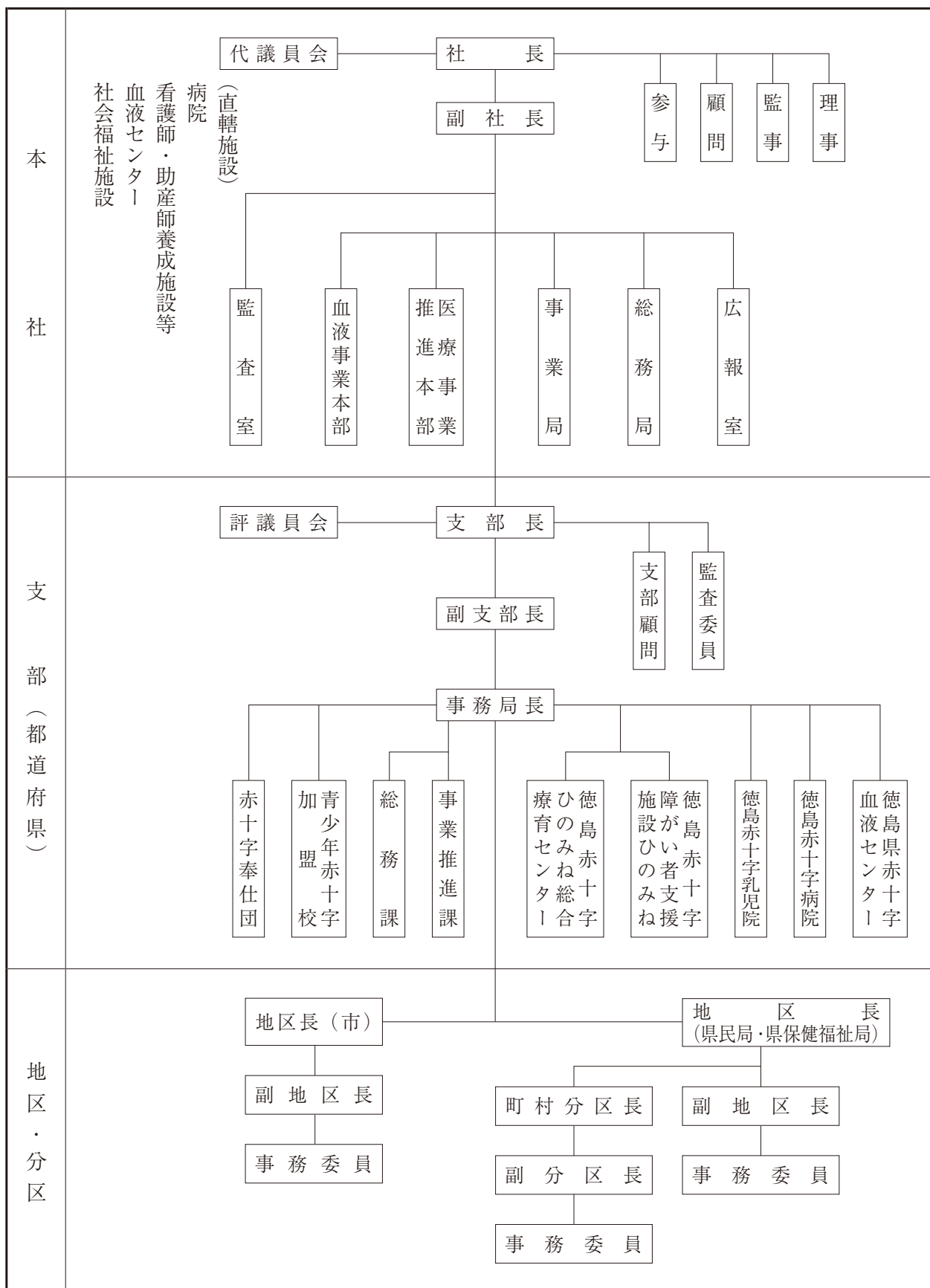
1 沿革

年 月 日	事 項
明治20. 10. 28	四国の他の3県にさがけ日本赤十字社徳島県委員部として創立、初代委員長に酒井明氏が就任
27. 11. 27	日本赤十字社徳島県委員部は各県に支部制がしかれ、日本赤十字社徳島支部と改称 初代支部長に村上義雄氏が就任
昭和20. 7. 4	徳島本町にあった支部社屋が戦災により焼失し、翌5日北常三島町2丁目の民家を借り業務を開始
22. 9. 27	初の民間人支部長に奥村嘉蔵氏が就任
23. 9. 1	徳島本町の旧敷地内に木造平屋の支部社屋を再建
27. 10. 31	新定款の制定により日本赤十字社徳島県支部と改称
35. 3. 13	徳島市新蔵町1丁目の県有地647.20㎡を借受け、鉄筋コンクリート3階建（一部4階）延面積953.35㎡の支部社屋を建設
42. 1. 6	奥村嘉蔵氏死去により支部長辞任
6. 3	第38代支部長に武市恭信氏が就任
56. 10. 12	武市恭信氏、支部長辞任
13	第39代支部長に三木申三氏が就任
58. 11. 26	徳島市庄町3丁目12-1の県有地3,378.81㎡を借受け、鉄筋コンクリート3階建の本館延面積861.84㎡及び鉄筋平屋建の倉庫及び車庫延面積280.58㎡、合計延面積1,142.42㎡の新社屋建設 ※同県有地内に血液センター社屋及び車庫総延面積2,559.96㎡も同時建設
59. 3. 10	徳島市新蔵町1丁目の旧社屋を解体
62. 11. 25	名誉副総裁三笠宮妃殿下をお迎えして支部創立百周年記念赤十字大会を開催
平成5. 10. 4	三木申三氏、支部長辞任
5	第40代支部長に圓藤寿穂氏が就任
9. 7. 23	皇太子殿下・同妃殿下をお迎えして第33回献血運動推進全国大会を開催
14. 3. 17	圓藤寿穂氏、支部長辞任
18	第40代支部長職務代理に副支部長藤野井親仁氏が就任
5. 22	第41代支部長に大田正氏が就任
15. 5. 29	大田正氏、支部長辞任
6. 4	第42代支部長に飯泉嘉門氏が就任
16. 9. 9	吉野川市鴨島町に赤十字防災センターを設置
19. 12. 6	名誉副総裁高円宮妃殿下をお迎えして支部創立百二十周年記念赤十字大会を開催
23. 9. 8	板東俘虜収容所跡地（鳴門市ドイツ村公園）に「赤十字ゆかりの地モニュメント」を設置
27. 5. 1	支部事務局1階玄関ホールに「赤十字展示コーナー」を設置
29. 4. 22	支部創立130周年記念展「今に生きる『人道博愛の心』－美術に見る日本赤十字社の歩み－」を徳島県立近代美術館で開催
～ 6. 11	
29. 9. 7	海部郡牟岐町に赤十字南部救護倉庫を設置
29. 12. 6	名誉副総裁寛仁親王妃信子殿下をお迎えして支部創立百三十周年記念赤十字大会を開催
30. 3. 31	吉野川市鴨島町の赤十字防災センターを廃止
30. 4. 24	「とくしま赤十字災害救護サポートセンター」を開所

2 組 織

日本赤十字社の組織

(令和4年4月1日現在)



3 役員・評議員

(1) 役員名簿

(令和4年4月1日現在)

役 職 名		氏 名	住 所	備 考
支 部 役 員	支 部 長	飯 泉 嘉 門	徳島市万代町	徳 島 県 知 事
	副支部長	内 藤 佐和子	徳島市幸町	徳 島 市 長
		影 治 信 良	海部郡美波町	徳島県町村会長・美波町長
		岡 田 好 史	徳島市西船場2	徳 島 県 赤 十 字 有 功 会 長 (株)阿波銀行 取締役会長
	監査委員	原 孝 仁	鳴門市撫養町	公 認 会 計 士
		川 長 光 男	阿南市柳島町	元徳島県町村会常務理事
	顧 問	小 森 將 晴	鳴門市北灘町	元日本赤十字社徳島県支部事務局長

本 社 役 員	理 事	川 島 周	徳島市北佐古1	川島ホスピタルグループ会長 徳島県赤十字有功会副会長
	代 議 員	川 島 周	徳島市北佐古1	川島ホスピタルグループ会長 徳島県赤十字有功会副会長
		岡 田 好 史	徳島市西船場2	徳 島 県 赤 十 字 有 功 会 長 (株)阿波銀行 取締役会長

(2) 評議員名簿

(任期 令和4年2月14日～令和7年2月13日)

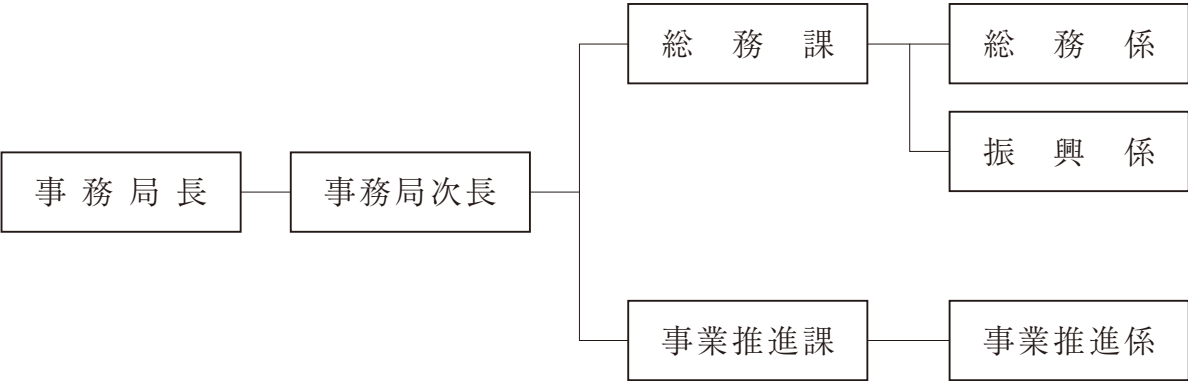
(令和4年4月1日現在)

選出地区名	氏 名	住 所	備 考
徳 島 市	寺 内 カツコ	徳島市南末広町	徳島商工会議所会頭
	宇都宮 正 登	徳島市幸町 3	徳 島 市 医 師 会 長
	米 田 豊 彦	徳島市中徳島町 2	徳 島 新 聞 社 長 理 事 社 長
	松 本 侯	徳島市北田宮 1	徳島県歯科医師会長
	板 東 恵 子	徳島市南沖洲	徳島市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
鳴 門 市	泉 理 彦	鳴門市撫養町	鳴 門 市 長
	矢 野 壽美子	鳴門市撫養町	鳴門市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
小 松 島 市	中 山 俊 雄	小松島市横須町	小 松 島 市 長
	竹 島 由美子	小松島市櫛渕町	小松島市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
阿 南 市	表 原 立 磨	阿南市富岡町	阿 南 市 長
	紅 露 清 恵	阿南市桑野町	阿南市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
吉 野 川 市	原 井 敬	吉野川市鴨島町	吉 野 川 市 長
	喜 島 寧 子	吉野川市鴨島町	吉野川市地区赤十字 奉 仕 団 委 員 長
阿 波 市	藤 井 正 助	阿波市市場町	阿 波 市 長
美 馬 市	藤 田 元 治	美馬市穴吹町	美 馬 市 長
三 好 市	高 井 美 穂	三好市池田町	三 好 市 長

選出地区名	氏 名	住 所	備 考
東 部	花 本 靖	勝浦郡上勝町	上 勝 町 長
	後 藤 正 和	名西郡神山町	神 山 町 長
	吉 田 直 人	板野郡松茂町	松 茂 町 長
	高 橋 英 夫	板野郡藍住町	藍 住 町 長
	松 田 卓 男	板野郡上板町	上 板 町 長
南 部	坂 口 博 文	那賀郡那賀町	那 賀 町 長
	三 浦 茂 貴	海部郡海陽町	海 陽 町 長
西 部	兼 西 茂	美馬郡つるぎ町	つ る ぎ 町 長
	松 浦 敬 治	三好郡東みよし町	東 み よ し 町 長
支部長選出	岡 田 好 史	徳島市西船場 2	徳島県赤十字有功会長 (株)阿波銀行 取締役会長
	森 口 浩 徳	徳島市万代町 1	徳島県保健福祉部長
	藤 田 育 美	美馬市脇町	赤十字奉仕団徳島県 支 部 委 員 長
	田 村 浩 康	徳島市南矢三町	青少年赤十字徳島県 指 導 者 協 議 会 長

4 支部事務局

(1) 組 織



(2) 職員の現員（令和4年4月1日現在） 9名

Ⅱ 重 点 事 項

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命に基づき、各種人道活動を展開した。

1 赤十字思想の普及、赤十字会員等・社資（赤十字活動支援費）の増強

(1) 年間を通じた広報活動の強化

県内各地の幹線道路沿いに設置している赤十字看板や、のぼり、ケーブルテレビ等を活用して地域に根ざした広報活動を展開するとともに、新聞やホームページ等様々な媒体による情報発信を行い、「赤十字活動の見える化」を推進した。

(2) 「赤十字フラッグキャンペーン」の実施

5月の赤十字運動月間に、県庁前ヨットハーバー「ケンチョピア」の沿道にのぼりを掲げるとともに、徳島の玄関口である「徳島駅前一番町商店街」の沿道ポールにバナーフラッグを掲揚し、赤十字思想の普及に努めた。

(3) 時代に応じた寄付制度の普及・啓発

ライフプランの変化に対応した、多様な赤十字支援の方法（遺産や相続財産の寄付、御香典からの寄付等）について、専門機関等の協力を得ながら積極的な情報発信に努めた。

(4) 日本赤十字社功労表彰の実施

赤十字奉仕団員や地区・分区役員等、赤十字活動に功労のあった方々への顕彰を行い、感謝の意を表すとともに、赤十字活動への更なる理解と協力を呼びかけた。

(5) 企業等と連携した赤十字活動の推進

企業等の社会貢献活動と連携して、「赤十字活動支援自動販売機」や「チャリティーボックス（募金箱）」の設置など、身近で手軽に赤十字活動を支援できる環境の整備に努めた。

2 災害救護

(1) 災害救護体制の強化

被災地の保健医療ニーズを把握し、被災地における救護班の活動等をコーディネートする「日赤災害医療コーディネートチーム」を1チーム追加し、体制の強化を図った。

(2) 災害救護訓練への参加及び救護班要員研修等の実施

日本赤十字社中国・四国ブロック災害救護訓練に参加し、相互支援体制の強化を図るとともに、救護班要員を対象とした訓練を実施し、救護技術の向上を図った。

(3) 大規模災害時における避難者支援体制の強化

大規模災害時の長期避難生活において、特に支援が必要な乳児及び要配慮者に特化した当支部オリジナル「段ボールベッド」を地区・分区に配備した。

(4) 地域における防災・減災事業の推進

地域における「自助」「共助」の力を高めるために、赤十字防災セミナーを実施し、災害の基礎知識や災害への備えについての講話をはじめ、感染症流行下における避難所運営に必要な知識・技術の普及を図った。

3 赤十字救急法等の普及活動

(1) 新型コロナウイルス蔓延下における新たな赤十字講習の普及

新たな生活様式に基づき、受講者の健康チェックや3密回避が可能な会場選定、受講者の人数制限等の感染防止対策を徹底したうえで、主催者の協力の下、各種赤十字講習の普及に努めた。

(2) 県民のニーズに合わせた各種講習内容の充実

救急法や幼児安全法においては、感染防止対策として蘇生人形の代わりにペットボトルを活用した心肺蘇生講習を実施するとともに、感染症に関する知識や正しい手洗い方法の啓発、オンラインによる講習等、県民のニーズに合わせた講習を推進した。

4 赤十字奉仕団活動

(1) 赤十字奉仕団の活性化

地域のニーズに対応した奉仕団活動を広く周知し、新たな奉仕団員を募集するためのチラシを作成・配付するとともに、モデル奉仕団活動等を通して、奉仕団活動の活性化に努めた。

(2) 災害に強い地域づくりへの貢献

当支部が県内各地域に配備している「災害用移動炊飯器」や「災害時活動用テント」を活用した炊き出し訓練等を実施するとともに、地区・分区へ配置を進めている当支部オリジナル「段ボールベッド」の設営訓練等を行い、地域の防災力向上に努めた。

(3) 未来を担う青少年への「人道のこころ」の普及

青少年赤十字加盟校の児童・生徒等を対象に、赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」の上演活動を通して、未来を担う青少年への「人道のこころ」の普及を図った。

5 青少年赤十字

(1) 青少年赤十字の加盟促進等

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標掲げる青少年赤十字の普及を図るため、特に小学校や幼稚園を対象に加盟を促進した。

また、小・中・高の加盟校では、防災教育やリサイクル活動等を通して、「気づき・考え・実行する」態度目標に沿った青少年赤十字活動を実施した。

(2) 青少年赤十字国際支援学習の実施

災害や貧困等に苦しむ世界の子供たちの現状についての学習を進め、自分たちにできる支援等について考えることで、児童・生徒の世界の人道問題に対する理解促進と仲良く助け合う精神の醸成を図った。

(3) 「青少年赤十字防災教育プログラム」等を活用した防災教育の推進

授業ですぐ使える防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」等を活用した防災教育プログラムを加盟校で推進し、児童・生徒の防災意識の高揚を図った。

6 国際活動

(1) アジア・大洋州地域に対する給水・衛生活動の支援

日本赤十字社中国・四国各県支部と連携し、アジア・大洋州地域における「給水・衛生キット」の配備をはじめとした給水・衛生活動の支援を行った。

(2) 「海外たすけあい」キャンペーンの実施

世界各地で多発する自然災害や紛争等による犠牲者の緊急救援、及び開発途上国赤十字社の行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力を行うために「海外たすけあい」募金キャンペーンを実施した。

Ⅲ 事業の実施状況

1 赤十字思想の普及、赤十字会員等・社資（赤十字活動支援費）の増強

新型コロナウイルス感染症の流行により、社資募集をとりまく環境は非常に厳しい状況となったが、地区・分区や赤十字奉仕団、赤十字協賛委員、赤十字有功会、各種ボランティア等の協力と会員の支援を得て、次のとおり実績をあげることができた。

(1) 社資募集実績表

項 目		目標額（円）	実績額（円）	達成率（％）
一 般 社 資		139,000,000	136,765,146	98.4
内 訳	社 費	129,000,000	98,322,798	76.2
	寄 付 金	10,000,000	38,442,348	384.4
	指定寄付金	0	0	－
法 人 社 資		18,000,000	40,384,584	224.4
内 訳	指定寄付金	2,000,000	2,000,000	100.0
	その他社資	16,000,000	38,384,584	239.9
合 計		157,000,000	177,149,730	112.8

※ 達成率は小数第2位を四捨五入

(2) 地区別社費実績表

年度別 地区名	令和3年度			令和2年度		
	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)
徳島市区 地 区	44,957,000	24,033,889	53.5	44,666,000	26,303,928	58.9
鳴門市区 地 区	9,519,000	8,855,562	93.0	9,558,000	9,191,261	96.2
小松島市区 地 区	6,203,000	2,105,344	33.9	6,250,000	2,392,500	38.3
阿南市区 地 区	11,779,000	11,057,315	93.9	11,790,000	11,276,800	95.6
吉野川市区 地 区	6,581,000	6,178,800	93.9	6,604,000	6,284,800	95.2
阿波市区 地 区	5,823,000	4,958,100	85.1	5,860,000	5,225,800	89.2
美馬市区 地 区	4,757,000	4,347,500	91.4	4,791,000	4,510,500	94.1
三好市区 地 区	4,118,000	4,705,201	114.3	4,209,000	4,915,482	116.8
東部地区	23,086,000	11,816,654	51.2	22,956,000	12,507,169	54.5
南部地区	4,533,000	4,456,354	98.3	4,617,000	4,458,111	96.6
西部地区	3,644,000	4,091,436	112.3	3,699,000	4,268,200	115.4
そ の 他	4,000,000	11,716,643	292.9	4,000,000	20,434,711	510.9
計	129,000,000	98,322,798	76.2	129,000,000	111,769,262	86.6

※1 達成率は小数第2位を四捨五入

※2 「その他」は日本赤十字社徳島県支部扱いの社費協力

(3) 分区域社費実績表

年度別 地区・分区分名		令和3年度			令和2年度		
		目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)
徳島市地区		44,957,000	24,033,889	53.5	44,666,000	26,303,928	58.9
鳴門市地区		9,519,000	8,855,562	93.0	9,558,000	9,191,261	96.2
小松島市地区		6,203,000	2,105,344	33.9	6,250,000	2,392,500	38.3
阿南市地区		11,779,000	11,057,315	93.9	11,790,000	11,276,800	95.6
吉野川市地区		6,581,000	6,178,800	93.9	6,604,000	6,284,800	95.2
阿波市地区		5,823,000	4,958,100	85.1	5,860,000	5,225,800	89.2
美馬市地区		4,757,000	4,347,500	91.4	4,791,000	4,510,500	94.1
三好市地区		4,118,000	4,705,201	114.3	4,209,000	4,915,482	116.8
東部地区	勝浦町分区分	818,000	934,000	114.2	824,000	1,092,600	132.6
	上勝町分区分	246,000	274,200	111.5	249,000	267,100	107.3
	佐那河内村分区分	351,000	500,100	142.5	353,000	477,000	135.1
	石井町分区分	4,226,000	2,262,350	53.5	4,213,000	2,294,950	54.5
	神山町分区分	818,000	899,900	110.0	829,000	922,102	111.2
	松茂町分区分	2,530,000	1,416,303	56.0	2,527,000	1,635,602	64.7
	北島町分区分	3,930,000	1,468,801	37.4	3,889,000	1,434,115	36.9
	藍住町分区分	6,069,000	1,557,200	25.7	5,982,000	1,693,500	28.3
	板野町分区分	2,183,000	1,005,400	46.1	2,173,000	1,079,400	49.7
	上板町分区分	1,915,000	1,498,400	78.2	1,917,000	1,610,800	84.0
	計	23,086,000	11,816,654	51.2	22,956,000	12,507,169	54.5
南部地区	那賀町分区分	1,289,000	1,353,100	105.0	1,322,000	1,330,400	100.6
	美波町分区分	1,091,000	1,134,250	104.0	1,108,000	1,072,710	96.8
	牟岐町分区分	665,000	711,004	106.9	674,000	712,001	105.6
	海陽町分区分	1,488,000	1,258,000	84.5	1,513,000	1,343,000	88.8
	計	4,533,000	4,456,354	98.3	4,617,000	4,458,111	96.6
西部地区	つるぎ町分区分	1,388,000	1,535,736	110.6	1,422,000	1,608,000	113.1
	東みよし町分区分	2,256,000	2,555,700	113.3	2,277,000	2,660,200	116.8
	計	3,644,000	4,091,436	112.3	3,699,000	4,268,200	115.4
その他		4,000,000	11,716,643	292.9	4,000,000	20,434,711	510.9
計		129,000,000	98,322,798	76.2	129,000,000	111,769,262	86.6

※1 達成率は小数第2位を四捨五入

※2 「その他」は日本赤十字社徳島県支部扱いの社費協力

(4) 年度別社資実績状況

年度	項 目	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率 (%)
平成 29 年度	一 般 社 資	146,000,000	223,285,397	152.9
	社 費 金	130,000,000	99,122,099	76.2
	寄 付 金	15,000,000	123,163,298	821.1
	指 定 寄 付 金	1,000,000	1,000,000	100.0
	法 人 社 資	22,000,000	42,558,803	193.4
	指 定 寄 付 金	2,000,000	2,000,000	100.0
	そ の 他 社 資	20,000,000	40,558,803	202.8
	計	168,000,000	265,844,200	158.2
平成 30 年度	一 般 社 資	139,000,000	213,897,523	153.9
	社 費 金	129,000,000	106,738,392	82.7
	寄 付 金	9,000,000	106,094,131	1,178.8
	指 定 寄 付 金	1,000,000	1,065,000	106.5
	法 人 社 資	18,000,000	52,915,497	294.0
	指 定 寄 付 金	2,000,000	2,000,000	100.0
	そ の 他 社 資	16,000,000	50,915,497	318.2
	計	157,000,000	266,813,020	169.9
令 和 元 年 度	一 般 社 資	139,000,000	131,041,415	94.3
	社 費 金	129,000,000	105,128,654	81.5
	寄 付 金	9,000,000	24,837,761	276.0
	指 定 寄 付 金	1,000,000	1,075,000	107.5
	法 人 社 資	18,000,000	66,714,750	370.6
	指 定 寄 付 金	0	0	—
	そ の 他 社 資	18,000,000	66,714,750	370.6
	計	157,000,000	197,756,165	126.0
令 和 2 年 度	一 般 社 資	139,000,000	138,379,086	99.6
	社 費 金	129,000,000	111,769,262	86.6
	寄 付 金	10,000,000	26,609,824	266.1
	指 定 寄 付 金	0	0	—
	法 人 社 資	18,000,000	49,522,081	275.1
	指 定 寄 付 金	2,000,000	2,000,000	100.0
	そ の 他 社 資	16,000,000	47,522,081	297.0
	計	157,000,000	187,901,167	119.7
令 和 3 年 度	一 般 社 資	139,000,000	136,765,146	98.4
	社 費 金	129,000,000	98,322,798	76.2
	寄 付 金	10,000,000	38,442,348	384.4
	指 定 寄 付 金	0	0	—
	法 人 社 資	18,000,000	40,384,584	224.4
	指 定 寄 付 金	2,000,000	2,000,000	100.0
	そ の 他 社 資	16,000,000	38,384,584	239.9
	計	157,000,000	177,149,730	112.8

※ 達成率は小数第2位を四捨五入

(5) 年間を通した広報活動の強化

① 赤十字看板や懸垂幕による広報

交通量の多い幹線道路沿いへの赤十字看板の設置を継続するとともに、幹線道路沿いの県庁舎（徳島合同庁舎）の協力を得て新たに懸垂幕を設置し、「いのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命と、その活動原資が赤十字活動支援費であることを啓発した。



国道11号線沿いの徳島合同庁舎に設置した赤十字懸垂幕

② 地域に根ざした広報活動の展開

赤十字運動月間を中心に、地域の人々が集まる公共施設等に地区・分区、赤十字奉仕団等の協力を得て「赤十字のほり」を設置するとともに、四国放送及び県内ケーブルテレビ局の協力を得てスポットCMを放送するなど、地域に根ざした広報活動を展開した。

(6) 「赤十字フラッグキャンペーン」の実施

5月の赤十字運動月間を中心に、県庁前ヨットハーバー「ケンチョピア」の沿道に赤十字フラッグを掲げるとともに、徳島の玄関口である「徳島駅一番町商店街」に立ち並ぶ20本のポールにバナーフラッグを設置して、赤十字思想の普及を図った。



ケンチョピアで実施したフラッグキャンペーン

(7) 赤十字事業説明バス

地域で赤十字活動に深い関わりのある赤十字奉仕団や自治会、町内会、自主防災組織のリーダー等を対象に実施した。

赤十字の仕組みと活動に関する説明や救護倉庫の見学、非常食の炊き出し体験等を行うとともに、板東俘虜収容所跡地に設置している「赤十字ゆかりの地」を見学し、赤十字活動への理解促進に努めた。

なお、実施状況は次のとおりである。



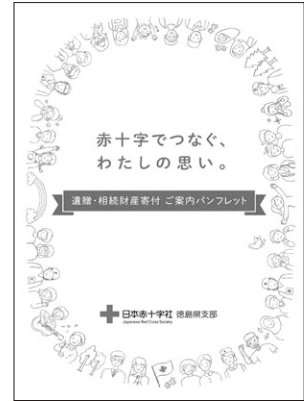
災害用移動炊飯器の説明を受ける参加者

No.	実施年月日	対 象	参加者数(名)
1	7月20日	海陽町婦人会	19名
2	9月28日	美馬市婦人会	19名

※ 新型コロナウイルス感染防止対策として、20名を定員として実施した。

(8) 時代に応じた寄付制度の普及・啓発

超高齢社会を迎え、御香典の寄付や相続財産の寄付、遺贈等の相談が寄せられている中で、ライフプランに応じた赤十字支援の方法について、ホームページでの広報活動を行うとともに、遺贈等について分かりやすく説明したパンフレットを新たに作成し、関係機関へ周知するなど積極的な情報発信を行った。



遺贈・相続財産寄付
ご紹介パンフレット

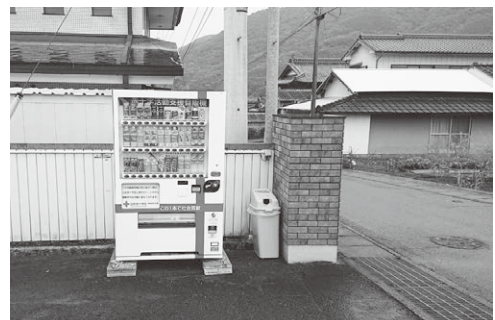
(9) 日本赤十字社功労表彰の実施

長年、赤十字活動に功労のあった方々への顕彰を行い、感謝の気持ちをお伝えするとともに、地域に根ざした赤十字活動の更なる進展を図った。

なお、例年開催している「赤十字の集い」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

(10) 企業等と連携した赤十字活動の推進

企業等の社会貢献活動と連携して、新たに4台の「赤十字活動支援自動販売機」を設置するとともに、「チャリティーボックス（募金箱）」設置場所の拡充を図り、身近で手軽に赤十字支援ができる環境を整備した。



美馬市に設置した赤十字活動支援自動販売機

また、自動販売機や募金箱に赤十字マークや人道活動の内容をデザインすることにより、赤十字活動の啓発に努めた。

なお、自動販売機の設置状況は次のとおりである。



赤十字チャリティーボックス

(令和4年3月31日現在)

No.	市町村名	設 置 場 所	No.	市町村名	設 置 場 所
1	徳島市	株式会社阿波銀行 本店	51	小松島市	徳島赤十字病院
2		株式会社阿波銀行 本店	52		徳島赤十字病院
3		株式会社阿波銀行 本店	53		徳島赤十字病院 工事現場*
4		株式会社阿波銀行 事務センター	54		徳島赤十字病院 工事現場*
5		株式会社阿波銀行 事務センター	55	阿南市	日亜化学工業株式会社
6		株式会社阿波銀行 事務センター	56		日亜化学工業株式会社
7		株式会社阿波銀行 本店営業部	57		日亜化学工業株式会社
8		阿波銀住友生命ビル	58		阿南川島クリニック
9		あわぎん相談プラザ	59		キョーエイ羽ノ浦店
10		株式会社阿波銀行 研修所	60		本庄公会堂
11		株式会社阿波銀行 研修所	61		長生町自販機コーナー
12		株式会社阿波銀行 福島支店	62		原嘉彦氏所有地
13		株式会社阿波銀行 昭和町支店	63	吉野川市	日本フネン株式会社
14		株式会社阿波銀行 川内支店*	64		鴨島川島クリニック
15		株式会社阿波銀行 徳島北支店	65		株式会社阿波銀行 鴨島支店*
16		株式会社阿波銀行 中洲管理センター	66		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
17		株式会社阿波銀行 新町ビル前公園*	67		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
18		沖洲コミュニティセンター*	68		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
19		徳島県医師会館	69	阿波市	株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
20		徳島県医師会館	70		阿波中央バス
21		キョーエイ 沖浜店	71	美馬市	有限会社三宅生コン
22		キョーエイ 山城橋店	72		株式会社北岡組
23		キョーエイ 三ッ合橋店	73	石井町	株式会社阿波銀行 石井支店
24		ショッピングプラザタクト	74	松茂町	徳島阿波おどり空港
25		川島病院	75		株式会社阿波銀行 松茂支店
26		川島透析クリニック	76	北島町	四国化工機株式会社
27		川島透析クリニック	77		キョーエイ 北島店
28		川島透析クリニック	78		株式会社渡辺不動産*
29		川島透析クリニック	79		渡辺不動産サンチュールリッパタウン*
30		川島病院 透析棟	80	藍住町	株式会社阿波銀行 北島支店
31		川島病院 透析棟	81		キョーエイ 笠木店
32		川島病院 工事現場*	82		株式会社吉岡組*
33		川島病院 工事現場*	83		稲次整形外科病院
34		社会福祉法人飛鳥	84		かねこみそ株式会社
35		社会福祉法人飛鳥	85		かねこみそ株式会社
36		社会福祉法人飛鳥	86		かねこみそ株式会社
37		阿波製紙株式会社	87		藍住川島クリニック
38		一般社団法人徳島新聞社	88	板野町	藍住川島クリニック
39		徳農種苗株式会社	89		上田託也氏所有地
40		徳農種苗株式会社	90		テック情報株式会社
41		高橋利弘氏所有地	91	美波町	美波町国民健康保険美波病院
42		岸化学グループ	92		美波町医療保健センター
43		喜多機械産業株式会社	93	海陽町	株式会社丸本
44		日本赤十字社徳島県支部	94		株式会社丸本
45		キョーエイ 鳴門店	95		株式会社丸本ホットフーズ
46	鳴門市	鳴門クルーズサービス有限会社	96	つるぎ町	カラオケコスモス
47	小松島市	徳島赤十字ひのみね総合療育センター	97	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会
48		徳島赤十字ひのみね総合療育センター			
49		徳島赤十字ひのみね総合療育センター			
50		徳島赤十字乳児院			

※ 網掛けは、令和3年度に設置した支援自販機

※ *印は、一時待避または撤去した支援自販機

2 災害救護体制の充実・強化

今後30年以内に70～80%の確率で発生が懸念されている南海トラフ巨大地震をはじめ、日本各地で激甚化、頻発化する豪雨災害等の自然災害に備え、災害発生直後から慢性期までの医療救護活動が迅速かつ的確に展開できるよう、日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練や研修等を通して、救護体制の強化に努めた。

(1) 救護班の編成

医師や看護師、薬剤師等で編成する常備医療救護班をはじめ、災害急性期に活動するための専門的な訓練を受けたDMAT隊員や、災害時における心理的苦痛の予防と軽減を図るためのこころのケア指導者の養成を行い、有事即応の体制を整えている。

本年度は、被災地の保健医療ニーズを把握し、保健医療調整本部等において都道府県災害医療コーディネーター等と調整を行い、被災地における救護班の活動等をコーディネートする「日赤災害医療コーディネートチーム」を1チーム追加し、体制の強化を図った。

常備医療救護班等の編成状況は、次のとおりである。

① 常備医療救護班の編成

(人)

施設名	職種	医師 (班長)	臨床 研修医	看護 師長	看護師	薬剤師	主事 (自動車操作員 を兼ねる)	福祉 専門職	計
徳島赤十字病院 (5個班)		5	12	5	20	5	5	—	52
徳島赤十字ひのみね 総合療育センター (1個班)		1	—	1	4	1	1	—	8
徳島県赤十字血液センター (1個班)		1	—	1	4	—	2	—	8
徳島赤十字乳児院		—	—	—	1	—	—	1	2
計 (7個班)		7	12	7	29	6	8	1	70

(注) 1個班の編成基準

医 師 1 人 看護師長 1 人 看護師 4 人

薬剤師 1 人 主事（自動車操作員を兼ねる） 1 人 計 8 人

※徳島赤十字病院は、1個班あたり2名～3名の臨床研修医を加えて編成

※徳島赤十字乳児院は、被災地のニーズにあわせ、臨機的に救護班に加わり活動する。

② 日赤徳島 DMAT（災害派遣医療チーム） (人)

施設名 \ 職種	医 師	看 護 師	業務調整員
徳島赤十字病院 (3チーム)	4	11	12

(注) 1チームの編成基準（基本）

医師 1 人 看護師 2 人 業務調整員 1 人 計 4 人

③ 日赤災害医療コーディネートチーム（2チーム） (人)

名称 \ 職種	医 師	看護師	事務職員	計
災害医療 コーディネーター	3	－	－	3
災害医療コーディネート スタッフ	－	2	4	6

(注) 1チームの編成基準（基本）

医師 1 人 看護師・事務職員等 3 人 計 4 人

④ こころのケア指導者 (人)

施設名 \ 職種	看 護 師	公認心理師	計
徳島赤十字病院	8	－	8
徳島赤十字ひのみね 総合療育センター	4	1	5

(2) 日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部災害救護訓練等への参加

11月に香川県で開催された「日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練」に参加し、赤十字独自のネットワークを活用した各県支部相互支援体制の確立を図り、災害対応力の向上に努めた。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の研修についてはWEB形式で実施し、災害医療コーディネートや災害対策本部の運営に必要な知識や技術の習得を図った。



避難所で避難者の体調の確認を行う
当支部の救護員（香川県）

① 日本赤十字社本社並びに中国四国ブロックが実施する研修会

開催年月日	名 称	参加人数(人)	備 考
－	全国赤十字救護班研修会	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
－	日赤災害医療コーディネート研修会	－	〃
令和３年 11月13日	日本赤十字社中国・四国各県支部 合同災害救護訓練	15	香川県
－	日本赤十字社原子力災害対応基礎研 修会	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
令和４年 2月11日 ～13日	こころのケア指導者養成研修会	1	WEB 形式
2月14日 ～15日	日本赤十字社第５ブロック災害対策 本部要員研修会	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
3月13日	日赤災害医療コーディネートフォ ローアップ研修会	9	WEB 形式

② 他機関が実施する災害救護訓練等

開催年月日	名 称	場 所	参加人数 (人)	備 考
令和３年 9月1日	徳島県総合防災訓練	板野町	2	
令和４年 1月24日	徳島県国民保護共同実動・ 図上訓練	徳島県庁	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止

③ DMAT 関係訓練・研修への参加

開催年月日	名 称	備 考
令和３年 9月1日	徳島県総合防災訓練	新型コロナウイルス感染拡大のため不参加
令和４年 1月24日	徳島県国民保護共同実動・図上訓練	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
1月 中・下旬	四国 DMAT 実働訓練（オンライン）	〃
2月21日	中国四国ブロック DMAT 技能維持研修(香川県)	〃

(3) 救護班要員研修の実施

救護活動においては、特に活動に関わる通信や移動手段、救護所設営、生活手段等の確保を図りながら、業務調整を行う「救護主事」が重要な役割を果たすことから、救護主事として救護活動に必要な知識と技術を習得するための救護所設営訓練や各種資器材習熟訓練等を実施した。



業務用無線を用いて通信訓練を行う救護主事

① 支部が主催する救護員に対する研修の実施

開催年月日	名 称	参加人員(人)	備 考
令和3年 4月10日	日本赤十字社徳島県支部救護班要員研修	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
6月17日	日本赤十字社徳島県支部救護班要員主事研修	12	

(4) 救護物資及び救護資材

南海トラフ巨大地震等の大災害に備え、救護所及び後方支援の拠点として設置する天候万能型フレーム一体式テントをはじめ、赤十字の救護活動を自己完結するための車両として救護員輸送車等を整備している。

また、東日本大震災を教訓に、原子力災害の発生やその恐れがある場合に対応するためのデジタル個人線量計や防護服セット等、災害対応能力強化を図るための資器材も整備し、災害に備えている。

① 救護装備一覧

(令和4年3月31日現在)

品 名	数 量	品 名	数 量
災害救援車（普通自動車）	4台	防護マスク	12個
災害救援車（トラック）	1台	防護服	12着
フレーム一体式テント	2張	デジタル個人線量計	7台
エアータント	2張	防護服セット	7セット
除染テント	1張	寝袋	49枚
簡単テント	2張	敷きマット	28枚
パイプテント	1張	エア枕	500個
救護所用冷暖房器	3台	救命胴衣	10着
発電機	5台	災害用移動炊飯器	4基

品 名	数 量	品 名	数 量
投光器	19台	衛星携帯電話（モバイル）	1 台
医療セット	2セット	衛星携帯電話（車載）	1 台
初動用医療セット	1セット	簡易無線機	7 台
折り畳み寝台	21台	業務用無線局（150MHz）基地局	4 台
担架	12本	〃 移動局	10台
担架台	4 組	業務用無線局（400MHz）基地局	1 台
バックボード	4 台	〃 移動局	22台
ラップ式簡易トイレ	12台	アマチュア無線機	14台
簡易型トイレ	53個	充電式 LED ライト	19台
災害救護用自転車	1 台	折り畳みテーブル	10台
カセットガスストーブ	5 台	ハイブリッド発電機	7 台
スポットクーラー	2 台	弾性ストッキング	1,000足
折り畳みチェア	30脚	段ボールベッド（要配慮者用）	50セット
災害用アルミボート（船外機付）	1 艇	段ボールベッド（乳児用）	50セット

② 南部救護倉庫収納資機材一覧

（令和 4 年 3 月31日現在）

品 名	数 量	品 名	数 量
災害対策用ワンタッチ多目的テント	1 式	ラップ式トイレ専用折り畳み個室	2 個
全方位型 LED 投光器	2 台	簡易型トイレ	10個
発動発電機	2 台	個室型ワンタッチテント	10張
コードリール	2 本	備蓄用長尺トイレトーパー	10ロール
担架	2 本	ガソリン缶詰	8 リットル
折り畳み寝台	10台	白灯油缶詰	8 リットル
テーブル・椅子セット	3セット	ガソリン携行缶	1 個
折り畳みリヤカー	1 台	災害用移動炊飯器	2 基
台車	1 台	カセットコンロ・カセットガス	1セット
ノーパンク折り畳み自転車	1 台	大型やかん	1 個
折り畳み式ホワイトボード	2 台	大型なべ	1 個
トリアージタグ	200枚	毛布	240枚
防水型メガホン	2 台	緊急セット	30セット
防水シート	3 箱	安眠セット	60セット
シャベル	3 本	大判バスタオル	120枚
救助用レンジャーロープ	1 本	タオルケット	120枚

品 名	数 量	品 名	数 量
遠赤石油ストーブ	2 台	タオル・石けん	1 箱
保存用飲料水	108 ^{リットル}	段ボールベッド	10個
ラップ式移動型トイレ	2 台	間仕切り	10個

③ 救援物資備蓄状況

(令和4年3月31日現在)

区 分	前年度 繰越数	県外から の受入数	本年度 購入数	計①	本年度 払出数	その他 払出数	計②	残数 ①－②
毛 布	3,018	0	0	3,018	59	76	135	2,883
緊急セット	1,203	0	0	1,203	38	25	63	1,140
安眠セット	375	0	0	375	0	0	0	375
大判バスタオル	980	0	0	980	0	0	0	980
タオルケット	849	0	0	849	0	0	0	849



毛布



緊急セット



大判バスタオル



安眠セット



タオルケット

(5) 災害用移動炊飯器を活用した炊き出し訓練の実施

県下216カ所の学校や公民館等に配備している災害用移動炊飯器を活用し、赤十字奉仕団等が各地域で炊き出し訓練等を実施し、災害に強い地域づくりや絆づくりを行うとともに、災害時の食に対する支援体制の充実・強化を図った。



災害用移動炊飯器を活用して炊き出しを行う地域赤十字奉仕団

① 災害用移動炊飯器設置状況

(令和4年3月31日現在)

No.	地区・分区名	設 置 場 所	No.	地区・分区名	設 置 場 所
1	徳島市	内町コミュニティセンター	31	徳島市	八万中央コミュニティセンター
2		内町小学校	32		夷山緑地
3		出来島公園防災倉庫	33		八万小学校
4		新町公民館	34		八万南小学校
5		西富田コミュニティセンター	35		城南高等学校
6		東富田コミュニティセンター	36		ふれあい健康館
7		昭和コミュニティセンター	37		勝占中部コミュニティセンター
8		徳島市昭和地区猪之津株式会社 昭和倉庫	38		勝占東部コミュニティセンター
9		渭東コミュニティセンター	39		方上公民館
10		渭東コミュニティセンター	40		論田小学校
11		住吉・城東コミュニティセンター	41		多家良中央コミュニティセンター
12		徳島商業高等学校	42		丈六コミュニティセンター
13		徳島中学校	43		上八万地区ボランティアセンター
14		渭北コミュニティセンター	44		上八万小学校
15		佐古コミュニティセンター	45		一宮小学校
16		佐古コミュニティセンター	46		入田コミュニティセンター
17		沖洲コミュニティセンター	47		入田中学校
18		沖洲小学校	48		不動コミュニティセンター
19		津田コミュニティセンター	49		川内町民会館
20		津田中学校	50		川内町民会館
21		津田小学校	51		川内南小学校
22		加茂名コミュニティセンター	52		徳島県赤十字有功会 株式会社キョーエイ本部
23		ショッピングプラザタクト	53		徳島県赤十字有功会 株式会社キョーエイ本部
24		神明神社防災倉庫	54		応神コミュニティセンター
25		若宮神社防災倉庫	55		応神コミュニティセンター
26		喜多機械産業株式会社	56		国府コミュニティセンター
27		加茂コミュニティセンター	57		南井上コミュニティセンター
28		千松小学校	58		南井上コミュニティセンター
29		城西中学校	59		北井上コミュニティセンター
30		八万中央コミュニティセンター	60		北井上コミュニティセンター

No.	地区・分区名	設 置 場 所	No.	地区・分区名	設 置 場 所
61	鳴門市	鳴門市福祉事務所	101	阿南市	大野公民館
62		鳴門市福祉事務所	102		宝田公民館
63		鳴門市婦人会館	103		新野公民館
64		木津地区ふれあい公園防災倉庫	104		福井公民館
65		里浦公民館	105		那賀川公民館
66		里浦小学校	106		徳島県建設業協会阿南支所
67		鳴門西地区防災倉庫	107		中野島総合センター
68		北灘公民館	108		長生公民館
69		堀江公民館	109		富岡公民館
70		堀江公民館	110		阿南市勤労女性センター
71		鳴門東地区コミュニティセンター	111		桑野公民館
72		黒崎集会所	112		加茂谷公民館
73		黒崎集会所	113	吉野川市	鴨島公民館
74		矢倉集会所	114		上浦公民館
75		渦潮ふれあい館	115		西麻植会館
76		瀬戸公民館	116		牛島公民館
77		瀬戸公民館	117		川島公民館
78		島田小学校	118	阿波市	山川地域総合センター
79		北泊公民館	119		阿波市役所
80		明神北集会所	120		阿波市役所 阿波支所
81		日出集会所	121		阿波市役所 土成支所
82		徳島県赤十字有功会 鳴門シーガル病院	122		阿波市役所 吉野支所
83		徳島県赤十字有功会 鳴門シーガル病院	123	美馬市	大俣公民館
84		鳴門公民館	124		大俣公民館
85		川東公民館	125		美馬市福祉事務所
86		斎田集会所	126		三島会館
87		折野北条集会所	127		有限会社藤田計夫商店
88		板東南ふれあいセンター	128	三好市	美馬市消防本部
89	小松島市	小松島市役所	129		三好市役所
90		サウンドハウスホール	130		池田町中央公民館
91		徳島赤十字病院	131		三好市社会福祉協議会
92		徳島赤十字ひのみね総合療育センター	132		三好市社会福祉協議会 三野支所
93		みなと高等学園	133		三好市社会福祉協議会 山城支所
94		立江小学校	134		三好市社会福祉協議会 西祖谷支所
95		新開公民館	135		三好市社会福祉協議会 東祖谷支所
96		櫛渕公民館	136	勝浦町	勝浦町役場
97	阿南市	JA 東とくしま旧和田島支所倉庫	137		勝浦町農村環境改善センター
98		阿南市役所	138		勝浦町福祉センター
99		橘地区防災公園	139	上勝町	勝浦町民体育館
100		ショッピングプラザアピカ	140		旭基幹集落センター

No.	地区・分区名	設 置 場 所	No.	地区・分区名	設 置 場 所
141	上勝町	上勝町社会福祉協議会	179	上板町	上板町社会福祉協議会
142		高鉾公民館	180		高志消防コミュニティセンター
143		福原ふれあいセンター	181		大山消防コミュニティセンター
144	佐那河内村	佐那河内村役場	182		松島消防コミュニティセンター
145		佐那河内村社会福祉協議会	183	那賀町	那賀町役場
146		佐那河内村社会福祉協議会	184		那賀町役場 木沢支所
147		佐那河内小・中学校	185		那賀町役場 木頭支所
148	石井町	石井中学校	186		那賀町平谷出張所
149		高浦中学校	187		平谷小学校
150		石井町社会福祉協議会	188		桜谷小学校
151		石井町地域防災交流センター	189		鷲敷中央公民館
152		平島水防倉庫	190	美波町	南部総合県民局 美波庁舎
153	神山町	神山町社会福祉協議会	191		美波町ストックヤード
154		神山町社会福祉協議会	192		美波町ストックヤード
155		下分公民館	193		美波病院
156	松茂町	松茂町役場	194	牟岐町	木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設
157		松茂町役場	195		牟岐町役場 高倉倉庫
158		松茂町津波防災センター	196		牟岐町役場 西山倉庫
159		松茂町社会福祉協議会	197		牟岐町役場 西山倉庫
160		喜来小学校	198		牟岐町役場 西山倉庫
161		徳島阿波おどり空港	199	海陽町	海陽町役場 海部庁舎
162		松茂小学校	200		海陽町役場 海部庁舎
163	北島町	北島町社会福祉協議会	201		海陽町役場 海部庁舎
164		北島町社会福祉協議会	202		海陽町役場 海部庁舎
165		北島町社会福祉協議会	203		株式会社丸本（災害避難場所）
166		北島小学校	204		株式会社丸本（災害避難場所）
167	藍住町	藍住町社会福祉協議会	205	つるぎ町	つるぎ町役場
168		藍住町社会福祉協議会	206		つるぎ町役場
169		藍住東小学校	207		つるぎ町役場
170		藍住西小学校	208		つるぎ町役場 半田支所
171		藍住南小学校	209		つるぎ町役場 一字支所
172		藍住北小学校	210		つるぎ町役場 一字支所
173	板野町	板野町災害対策用備蓄倉庫	211	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会
174		板野町社会福祉協議会	212		東みよし町社会福祉協議会
175		板野南小学校	213		東みよし町デイサービスさざんか荘
176		板野西小学校	214		東みよし町デイサービスさざんか荘
177		板野町南公会堂	215		東みよし町デイサービスさざんか荘
178		板野町民ふれあいプラザ	216		東みよし町デイサービスさざんか荘

※ 網掛けは、令和３年度に設置した災害用移動炊飯器

② 「赤十字炊き出しサポーター」の状況

令和4年3月31日現在

地 区 ・ 分 区 名			人 数 (人)
徳 島 市	地 区		54
鳴 門 市	地 区		3
小 松 島 市	地 区		1
阿 南 市	地 区		32
吉 野 川 市	地 区		4
阿 波 市	地 区		5
美 馬 市	地 区		2
三 好 市	地 区		15
東 部 地 区	勝 浦 町		3
	上 勝 町		3
	佐 那 河 内 村		3
	石 井 町		2
	神 山 町		3
	松 茂 町		3
	板 野 町		2
	藍 住 町		3
	上 板 町		2
	北 島 町		3
南 部 地 区	那 賀 町		3
	美 波 町		3
	牟 岐 町		5
	海 陽 町		2
西 部 地 区	つ る ぎ 町		6
	東 み よ し 町		2
合 計			164

(6) 赤十字災害時活動用テントの配備

地域における災害時の支援活動や平時の防災訓練等において、簡単に設営が可能な折りたたみ式テントを地区・分区に83張配備している。

赤十字奉仕団や自主防災組織等が、地域の防災訓練等で活用することにより、地域の災害対応力の向上を図った。



災害時の活動拠点として活用するテントの組み立て訓練を行う地域赤十字奉仕団

① 赤十字災害時活動用テント配備状況

(令和4年3月31日現在)

No.	地区	設 置 場 所	No.	地区	設 置 場 所
1	徳島市	内町コミュニティセンター	42	阿波市	阿波市大俣公民館
2		新町コミュニティセンター	43		阿波市役所
3		西富田コミュニティセンター	44		吉野地域福祉センターこすもす
4		東富田コミュニティセンター	45	美馬市	美馬市福祉事務所
5		昭和コミュニティセンター	46		美馬市福祉事務所
6		渭東コミュニティセンター	47		美馬市社会福祉協議会
7		渭北コミュニティセンター	48	三好市	三好市中央公民館
8		佐古コミュニティセンター	49		三好市社会福祉協議会
9		沖洲コミュニティセンター	50	勝浦町	勝浦町民体育館
10		津田コミュニティセンター	51		勝浦町農村改善環境センター
11		加茂名地区名東3丁目自主防災会防災倉庫	52	上勝町	上勝町旭基幹集落センター
12		加茂コミュニティセンター	53		上勝町高鉾公民館
13		八万中央コミュニティセンター	54	佐那河内村	佐那河内村 防災倉庫
14		勝占中部コミュニティセンター	55		佐那河内村災害備蓄倉庫
15		多家良中央コミュニティセンター	56	石井町	石井町社会福祉協議会
16		上八万小学校	57		石井町社会福祉協議会
17		入田コミュニティセンター	58	神山町	神山町社会福祉協議会
18		不動コミュニティセンター	59		神山町社会福祉協議会
19		川内町民会館	60	松茂町	松茂町老人福祉センター
20		応神コミュニティセンター	61		松茂町老人福祉センター
21		徳島市立考古資料館敷地内防災倉庫	62	北島町	北島町社会福祉協議会
22		南井上コミュニティセンター	63		北島町社会福祉協議会
23		北井上コミュニティセンター	64	藍住町	藍住町福祉センター
24	鳴門市	鳴門市役所	65		藍住町社会福祉協議会
25		鳴門公民館	66	板野町	板野町町民センター
26		林崎防災倉庫	67		板野町社会福祉協議会
27		矢倉消防団詰所	68	上板町	上板町社会福祉協議会
28		堀江公民館	69		上板町社会福祉協議会
29	小松島市	サウンドハウスホール	70	那賀町	那賀町役場 相生庁舎
30		JA 東とくしま旧和田島支所倉庫	71		那賀町役場 相生庁舎
31		和田島緑地公園倉庫	72	美波町	日和佐公民館
32	阿南市	富岡公民館	73		美波町医療保健センター
33		羽ノ浦公民館	74	牟岐町	牟岐町役場 西山倉庫
34		大野公民館	75		牟岐町役場 西山倉庫
35		長生公民館	76	海陽町	海陽町役場 海部庁舎
36		見能林公民館	77		海陽町役場 海部庁舎
37		新野公民館	78	つるぎ町	つるぎ町役場
38	吉野川市	吉野川市役所	79		つるぎ町役場
39		ふるさとセンター	80	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会
40		川島公民館	81		東みよし町デイサービスさざんか荘
41		山川地域総合センター倉庫	82	その他	日本赤十字社徳島県支部
			83		日本赤十字社徳島県支部

(7) 大規模災害時における要支援者支援体制の強化

これまでの東日本大震災や熊本地震、令和2年7月豪雨災害等における救護活動の経験を踏まえ、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害時に、長期にわたる避難所生活において特に支援が必要な要配慮者や乳児を対象とした段ボールベッドを新たに地区・分区へ配備し、災害時における地域の要支援者支援体制の充実・強化を図った。



要配慮者用



乳児用

① 災害時要支援者用段ボールベッドの整備数

(令和4年3月31日現在)

No.	地区	設 置 場 所	備 蓄 数	
			要配慮者用	乳児用
1	徳 島 市	日本赤十字社徳島県支部	50	50
2	鳴 門 市	トリーデなると	10	10
3	小 松 島 市	小松島市保健センター	10	10
4	阿 南 市	阿南市役所	10	10
5	勝 浦 町	生名希望の広場	5	5
6	上 勝 町	上勝町コミュニティセンター	5	5
7	佐那河内村	佐那河内村防災倉庫	5	3
8	神 山 町	神山町社会福祉協議会	5	5
9	松 茂 町	松茂町老人福祉センター松鶴苑	5	5
10	北 島 町	北島町社会福祉協議会	5	5
11	美 波 町	美波町防災備蓄倉庫	5	5
12	牟 岐 町	中村地域活性化センター	5	5
13	海 陽 町	海部公民館	3	5
合 計			123	123

② 赤十字要支援者用段ボールベッド設営訓練実施状況

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
徳島市婦人連絡協議会	16
西富田婦人会	25
佐古婦人会	48
鳴門西婦人会	38
加茂婦人会	30
計	157

(8) 地域における防災・減災事業の推進

過去の災害の教訓や当支部の救護活動の経験を通して、今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震等の大規模災害から、いのちを守り被害を最小限に抑えるために、災害や防災についての考え方、平時の備えについて啓発を図る「防災セミナー」を学校や地域において実施した。



小学生を対象とした災害からいのちを守る講習

また、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、感染症に配慮した避難所運営に必要な知識・技術の普及を行った。

なお、実施状況は、次のとおりである。

① 講習実施状況

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
鴨島公民館	17	足代婦人会	30
那賀町婦人会	25	大津西小学校	53
佐那河内村農振センター	24	城西中学校	200
入田婦人会	20	東部地区赤十字奉仕団幹部研修会	56
加茂名南小学校	107	加茂婦人会	30
環境首都とくしま創造センター	20	石井町老人連合会	50
藍住町社会福祉協議会	40	堀江北小学校	25
南部 I 障がい者自立支援協議会	40	計15回	737

※ 救急法との同時開催分は、救急法短期講習実績に記載

(9) 臨時救護の状況

新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベント等が中止となる中で、青少年赤十字活動のサポートを中心に行った。

回数	派遣人数
3 回	6 人

(10) 赤十字小規模災害見舞金等交付状況

県内で発生した災害により死亡または行方不明、もしくは住家が全焼（壊）・半焼（壊）・流失・床上浸水の被害をうけた住民に対し、次の基準により見舞金品を交付した。

① 交 付 基 準

被害別	区分	見舞金 (弔慰金)	毛 布	タ オ ル	石 け ん	緊急セット (家族構成)
死 亡 行 方 不 明		30,000円				
全 全 流 流	焼 壊 失 失	20,000円	1 人に 1 枚	1 人に 5 本	1 人に 5 個	1 世帯に 1 個 (3 人まで) 1 世帯に 2 個 (4 人以上)
半焼・半壊		10,000円	1 人に 1 枚	1 人に 5 本	1 人に 5 個	1 世帯に 1 個
床 上 浸 水			1 人に 1 枚	1 人に 5 本	1 人に 5 個	1 世帯に 1 個

(注) 小規模災害に対する赤十字見舞金品交付要領に基づく。(災害救助法が適用される場合及び自己放火の火災については除く。)

② 市町村別交付状況

区 分		死 亡 行方不明 (件)	全焼・全壊 世帯件数 (件)	半焼・半壊 世帯件数 (件)	床上浸水 世帯件数 (件)	見舞金等交付状況		
						見舞金 (円)	毛 布 (枚)	緊急セット (個)
市 地 区	徳 島 市 地 区	2	5	1	0	170,000	6	6
	鳴 門 市 地 区	2	4	0	0	140,000	5	3
	小松島市地区	0	0	0	0	0	0	0
	阿 南 市 地 区	1	3	0	0	90,000	5	3
	吉野川市地区	0	0	0	0	0	0	0
	阿 波 市 地 区	0	2	0	0	40,000	5	4
	美 馬 市 地 区	0	1	0	0	20,000	1	1
	三 好 市 地 区	0	1	1	0	30,000	5	2
	市 地 区 計	5	16	2	0	490,000	27	19

区 分		死 亡 行方不明 (件)	全焼・全壊 世帯件数 (件)	半焼・半壊 世帯件数 (件)	床上浸水 世帯件数 (件)	見舞金等交付状況		
						見舞金 (円)	毛 布 (枚)	緊急セット (個)
東 部 地 区	勝 浦 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	上 勝 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	佐那河内村分区	0	0	0	0	0	0	0
	石 井 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	神 山 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	松 茂 町 分 区	0	1	0	0	20,000	1	1
	北 島 町 分 区	2	2	0	0	100,000	1	1
	藍 住 町 分 区	2	1	1	0	90,000	2	2
	板 野 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	上 板 町 分 区	1	1	0	0	50,000	0	0
	計	5	5	1	0	260,000	4	4
南 部 地 区	那 賀 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	美 波 町 分 区	0	0	0	0	0	0	0
	牟 岐 町 分 区	1	1	0	0	50,000	1	1
	海 陽 町 分 区	0	0	0	26	0	25	12
	計	1	1	0	26	50,000	26	13
西 部 地 区	つ る ぎ 町 分 区	0	1	0	0	20,000	1	1
	東みよし町分区	0	1	0	0	20,000	1	1
	計	0	2	0	0	40,000	2	2
町 村 分 区 計		6	8	1	26	350,000	32	19
合 計		11	24	3	26	840,000	59	38

(11) 国内の災害義援金及び海外救援金の受付状況

① 国内の災害義援金受付状況

(令和4年3月31日現在)

区 分	件 数 (件)	受 付 額 (円)
平 成 30 年 7 月 豪 雨 災 害 義 援 金	18	29,111
令 和 2 年 7 月 豪 雨 災 害 義 援 金	12	25,105
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	14	31,831
令 和 3 年 7 月 大 雨 災 害 義 援 金	22	236,550
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	1	10,000
令 和 3 年 8 月 大 雨 災 害 義 援 金	11	220,101
計	78	552,698

② 海外救援金の受付状況

区 分	件 数 (件)	受 付 額 (円)
トンガ大洋州噴火津波救援金	23	288,863
ウクライナ人道危機救援金	85	3,712,816
計	108	4,001,679

3 赤十字の救急法等の普及活動

本年度は、新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底したうえで、「いのちと健康を守る」具体的な知識と技術の普及を図り、県民が健康で安全な生活を送ることができるよう、県内各地で赤十字講習を開催した。

(1) 救 急 法

国内において心臓突然死で死亡する人は年間約8万人で、感染症蔓延下においてもその状況に変わりはなく、県民の尊い命を救うために、心肺蘇生法やAEDの使用方法を中心とした一次救命処置の普及を図った。



感染予防の観点から、従来の蘇生人形に代えて、ペットボトルを活用した心肺蘇生訓練

感染症対策として、従来の蘇生人形に代わり、ペットボトルを人体の胸部に見立てて胸骨圧迫訓練を行うとともに、リモートによる救急法講習を展開し、密集や密接、接触感染等のリスクを回避しながら、いのちと健康を守る知識と技術の普及を図った。

① 講習実施状況

ア. 基礎講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
日本赤十字社徳島県支部 一般対象①	5	5
日本赤十字社徳島県支部 一般対象②	10	10
計 2 回	15	15

イ. 短期講習 (集合型)

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
加 茂 名 中 学 校	34	羽 ノ 浦 小 学 校	43
徳 島 文 理 大 学	56	鳴門教育大学附属支援学校	30

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
徳 島 県 立 視 覚 支 援 学 校	37	阿 波 中 学 校	100
徳 島 市 立 高 等 学 校	40	東 京 海 上 日 動	20
一 宮 小 学 校	13	小 松 島 中 学 校	40
新 町 小 学 校	12	あいずみスポーツクラブ	32
藍 住 南 小 学 校	45	とくしまあいランド推進協議会	17
児 安 小 学 校	44	土 成 中 学 校	21
八 万 小 学 校	40	徳島ヴォルティスホームゲームサポートスタッフ	20
喜 来 小 学 校	30	藍 住 中 学 校	36
徳 島 文 理 大 学	20	徳 島 県 総 合 防 災 訓 練	2
鴨 島 東 中 学 校	120	吉 野 川 市 民 生 委 員	66
ひ の み ね 支 援 学 校	50	大 成 口 テ ッ ク	20
新 開 小 学 校	71	高 川 原 小 学 校	23
立 江 小 学 校	25	辻 地 区 住 民 福 祉 協 議 会	100
平 島 小 学 校	28	上 勝 中 学 校	27
南 井 上 小 学 校	22	鳴 門 渦 潮 高 等 学 校	37
鳴 門 高 等 学 校	60	藍 住 町 社 会 福 祉 協 議 会	40
山 口 小 学 校	26	徳島県教育委員会体育学校安全課	6
市 場 中 学 校	87	とくしまあいランド推進協議会	20
沖 洲 小 学 校	40	小 松 島 西 高 等 学 校	25
上 勝 小 学 校	31	小 松 島 市 総 合 防 災 訓 練	150
徳 島 県 バ レ ー ボ ー ル 協 会	18	四 国 大 学	12
芝 田 小 学 校	39	八 万 婦 人 会	52
城 東 高 等 学 校	20	徳 島 県 柔 道 本 部	20
吉 野 中 学 校	182	川 島 婦 人 会	15
土 成 中 学 校	59	西 郷 自 主 防 災 ・ 防 犯 組 織	100
四 国 大 学 附 属 保 育 園	7	板 野 高 等 学 校	42
助 任 小 学 校	40	旅 行 業 協 会	15
吉 井 小 学 校	20	文 理 大 学	24
大 野 小 学 校	13	徳 島 大 学	10
長 生 小 学 校	27	徳 島 県 保 育 事 業 連 合 会	100
城 南 高 等 学 校	40	徳 島 市 立 高 等 学 校	299
なのはなヘルパーステーション	16	計 67 回	2,976

ウ. 短期講習（リモート）

(人)

対 象 ・ 主 催 者	受講者数
藍住西小学校	38

② 救急法指導員数

職 員	47名	計 101名
ボランティア指導員	54名	

③ 赤十字 AED の設置状況

(令和4年3月31日現在)

No.	市町村	設置施設名	No.	市町村	設置施設名
1	徳島市	日本赤十字社徳島県支部事務局	39	美馬市	美馬市地域交流センターミライズ
2		徳島市役所	40		美馬市社会福祉協議会
3		阿波おどり会館	41		西部総合県民局美馬庁舎
4		内町コミュニティセンター	42	阿波市	阿波市役所
5		西富田コミュニティセンター	43		阿波市役所阿波支所
6		東富田コミュニティセンター	44		阿波市交流防災拠点施設「アエルワ」
7		昭和コミュニティセンター	45		吉野保健センター
8		渭東コミュニティセンター	46		土成保健センター
9		渭北コミュニティセンター	47		阿波市土成支所
10		佐古コミュニティセンター	48	三好市	三好市総合体育館
11		沖洲コミュニティセンター	49		山城公民館
12		加茂コミュニティセンター	50		井川町ふるさと交流センター
13		八万中央コミュニティセンター	51		三好市西祖谷総合支所
14		八万コミュニティセンター	52		三好市三野老人福祉センター
15		勝占中部コミュニティセンター	53		西部総合県民局三好庁舎
16		勝占東部コミュニティセンター	54	勝浦町	勝浦町役場
17		方上公民館	55	上勝町	上勝町役場
18		多家良中央コミュニティセンター	56	佐那河内村	佐那河内村役場
19		応神コミュニティセンター	57	石井町	石井町中央公民館
20		南井上コミュニティセンター	58		石井町社会福祉協議会
21	鳴門市	東部保健福祉局	59	松茂町	松茂町役場
22		鳴門市役所	60	藍住町	藍住町役場
23		鳴門市健康福祉交流センター	61		藍住町保健センター
24	小松島市	小松島市役所	62	板野町	板野町民センター
25	阿南市	阿南市役所	63	上板町	上板町老人福祉センター
26		つばき会館	64	那賀町	南部総合県民局那賀庁舎
27		阿南市文化会館	65	美波町	美波町役場
28		阿南市情報文化センター	66		道の駅ひわさ
29		長生隣保館	67		南部総合県民局美波庁舎
30		福井総合センター	68	牟岐町	牟岐町役場
31		伊島診療所	69	海陽町	海陽町デイサービスセンターさつき荘
32		阿南ひまわり会館	70		海陽町役場海部庁舎
33		加茂谷総合センター	71		海陽町役場穴喰庁舎
34		本庄公会堂	72	つるぎ町	つるぎ町役場一字支所
35		南部総合県民局阿南庁舎	73		つるぎ町就業改善センター
36		南部総合県民局阿南保健所庁舎	74	東みよし町	東みよし町役場
37	吉野川市	吉野川市役所	75		東みよし町老人福祉センター
38		吉野川市役所	76		東みよし町役場三好庁舎

(2) 水上安全法

水の事故から命を守るための泳ぎの基本や自己保全、事故防止、また万一、事故が発生した際の救助方法等の普及を図るのが水上安全法講習である。

本年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延下において、プールでの救助方法などの実技は密接・密集となり、受講者及び指導員の安全確保が困難なため、短期講習並びに救助員養成講習は中止となった。

① 水上安全法指導員数

職 員	1 名	計 25 名
ボランティア指導員	24 名	

(3) 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を健やかに過ごすために、健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術の普及を図るのが健康生活支援講習である。

新型コロナウイルス感染症蔓延下において、介護技術の実技を中心とした講習は密接・密集となり、受講者や指導者の安全確保が困難であるため中止となった。



ブラックライトで洗い残しをチェックする手洗い講習

一方で、新型コロナウイルス感染症についての知識や予防対策についての講習をはじめ、正しい手洗い習慣を普及するために「ブラックライト」を用いて洗い残しをチェックできる「手洗い講習」を実施した。

① 講習実施状況

ア. 手洗い講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
吉 野 川 市 鴨 島 公 民 館	17	西 富 田 婦 人 会	25
海 陽 町 婦 人 会	19	美 馬 市 婦 人 会	19
徳 島 文 理 大 学	20	社会福祉法人仁栄会ねむのき	17
佐 那 河 内 村 農 振 セ ン タ ー	24	なのはなヘルパーステーション	16
入 田 婦 人 会	20	計 9 回	177

② 健康生活支援講習指導員数

職 員	24 名	計 35 名
ボランティア指導員	11 名	

(4) 幼児安全法

乳幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術の普及を図るのが幼児安全法講習である。

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減できるペットボトルを用いて、乳幼児の胸骨圧迫の実技講習を保育所や幼稚園を中心に行うとともに、受講者が多数の講習においては、オンラインでの実施や2部制を導入し、コロナ禍でも県民の要望に応えるべく、創意工夫を凝らしながら幼児安全法の普及に努めた。



幼児の気道異物除去を学ぶ受講者

① 講習実施状況

ア. 短期講習

(人)

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
社会福祉法人仁栄会ねむのき	17	子育て支援ネットワーク	7
浦 庄 保 育 園	20	健 祥 会 認 定 こ ど も 園	15
高 原 保 育 園	23	み ど り 保 育 園	20
大 野 幼 稚 園	10	み の り 認 定 こ ど も 園	30
高 川 原 保 育 園	21	こども家庭支援センターひかり	6
こども家庭支援センターひかり	5	つ る ぎ 町	12
		計12回	186

② 幼児安全法指導員数

職 員	3 2 名	計 5 9 名
ボランティア指導員	2 7 名	

4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、市町村ごとに組織され、地域に根ざした活動を行う「地域赤十字奉仕団」と社会人や学生により組織されている「青年赤十字奉仕団」、また特定の資格や技能、知識等を活かした活動を行う「特殊赤十字奉仕団」で組織されている。

新型コロナウイルス感染症の流行により、奉仕団活動は制限されたが、その中でも地域のニーズを踏まえた活動を展開するとともに、青少年赤十字とも連携した活動を推進し、奉仕団活動の充実・強化を図った。

種別		区分	団 数 (団)	団 員 数 (人)		
				男	女	計
地 域 赤 十 字 奉 仕 団			23	1,420	25,963	27,383
羣 赤 十 字 奉 仕 団	青 年 赤 十 字 奉 仕 団		1	15	19	34
	学 生 赤 十 字 奉 仕 団		2	23	30	53
	計		3	38	49	87
特 殊 赤 十 字 奉 仕 団	赤十字救護救援奉仕団		1	36	19	55
	赤十字救急法奉仕団		1	30	71	101
	赤十字水上安全法奉仕団		1	22	3	25
	青少年赤十字賛助奉仕団		1	23	7	30
	赤 十 字 看 護 奉 仕 団		1	2	78	80
	赤十字アマチュア無線奉仕団		1	66	5	71
	赤 十 字 船 舶 奉 仕 団		1	33	1	34
	赤十字バイク奉仕団		1	69	5	74
	計		8	281	189	470
合 計			34	1,739	26,201	27,940

(1) 地域赤十字奉仕団

各市町村の地域赤十字奉仕団活動の充実・強化を図るために、「モデル奉仕団の指定」等を行い、感染防止対策を徹底しながら、地域のニーズに応じた活動を実施した。

また、奉仕団組織の強化を図るために、奉仕団活動の紹介と団員募集のチラシ等を作成し、各地域で積極的な広報活動を行い、奉仕団員の増強と活動の活性化に努めた。

① 主な奉仕活動

- ア 社員増強に関する活動
- イ 災害救護に関する活動
- ウ 青少年赤十字の普及・育成に関する活動
- エ 献血推進に関する活動
- オ 赤十字の講習等の普及活動
- カ 赤十字病院や施設における奉仕活動
- キ 高齢者や障がい者の援助活動
- ク 地域の環境美化活動
- ケ 子育て支援活動



奉仕団ごとに作成したオリジナルの募集チラシ

② 会 議

開催年月日	名 称	備 考
令和3年5月28日	赤十字奉仕団中央委員会	W E B 開 催

③ 研 修 会

開催年月日	名 称	備 考
令和3年11月11日	中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	W E B 開 催
令和4年2月18日	地域赤十字奉仕団研修会	新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面開催

④ モデル奉仕団の指定

奉仕団活動の充実と活性化を図るため、令和2年度にモデル奉仕団として指定していた新規5団と2年目5団は、新型コロナウイルス感染症の拡大により活動が制限されたため、令和3年度においても引き続き指定し、感染症に配慮しながら地域に根ざした様々な活動を行った。

ア 令和元年度～令和3年度指定（2年目5団）

地 区 名	奉 仕 団 名
徳 島 市	徳島市地区赤十字奉仕団渭北分団
鳴 門 市	鳴門市地区赤十字奉仕団大麻分団
阿 南 市	阿南市地区赤十字奉仕団津乃峰分団
西 部	西部地区つるぎ町赤十字奉仕団
東 部	東部地区佐那河内村赤十字奉仕団

イ 令和2年度～令和4年度指定（1年目5団）

地 区 名	奉 仕 団 名
徳 島 市	徳島市地区赤十字奉仕団沖洲分団
小 松 島 市	小松島市地区赤十字奉仕団櫛渕分団
阿 波 市	阿波市地区赤十字奉仕団
美 馬 市	美馬市地区赤十字奉仕団
南 部	南部地区那賀町赤十字奉仕団



幼稚園児との交流



独居老人訪問



炊き出し訓練



献血推進



美化活動

⑤ 未来を担う青少年への「人道のこころ」の普及

第一次世界大戦時に板東俘虜収容所で展開された人道的な史実を描いた赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」を活用した人道学習を、青少年赤十字を中心に実施し、未来を担う青少年の心の醸成と「人道のこころ」の普及を図った。

なお、紙芝居の上演状況は次のとおりである。



ドイツ館を訪れた青少年赤十字メンバーに紙芝居を披露する地域赤十字奉仕団

実 施 内 容	実施回数(回)	参加者数(名)
小学校や地域等での上演活動	6	165
鳴門市内の小学校に対する人道学習支援活動	4	163
県外の青少年赤十字加盟校に対する上演活動	1	71
合 計	11	399

(2) 青年赤十字奉仕団

若い力を集結して各種奉仕活動を展開するために、当支部や中国四国ブロック主催の協議会・研修会を可能な形で開催するとともに、感染防止対策を徹底しながら、献血キャンペーンや学内献血等を実施した。

① 会議及び研修会等

開催年月日	行事名	備考
令和3年4月25日	中国四国学生献血推進協議会代表委員会	W E B 開催
6月6日	第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	〃
6月26日	第1回全国学生献血推進実行委員会	〃
7月17日	中国四国学生献血推進協議会代表委員会	〃
8月26日	全国学生献血推進代表者会議	〃
9月20日	第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	〃
10月31日	中国四国学生献血推進協議会研修会	〃
令和4年2月26日	中国四国学生献血推進協議会代表委員会	〃
3月2日	第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	〃
3月18日	全国学生献血推進実行委員会	〃

② 主要奉仕活動

開催年月日	行事名	備考
令和3年4月18日	春の献血キャンペーン	ゆめタウン徳島
7月8日	中国四国学生統一献血キャンペーン	四国大学
7月12日		徳島大学
7月22日		ゆめタウン徳島
8月29日		ゆめタウン徳島
8月18日	青少年赤十字徳島県リーダーシップ・トレーニング・センター (小学校の部)	板野東小学校
令和4年1月10日	「はたちの献血」キャンペーン	ゆめタウン徳島
通年	学内献血	四国大学、徳島大学 常三島キャンパス

(3) 特殊赤十字奉仕団

新型コロナウイルス感染症の影響により活動は制限されたが、救護救援奉仕団を対象に感染症蔓延下の避難所運営に必要な知識の習得と、災害現場等で赤十字医療救護班が活動する臨時救護所の設営訓練等を通して、救護技術の向上を図った。



災害現場を想定して臨時救護所の設営を行う救護救援奉仕団員

① 会議及び研修等

開催年月日	行 事 名	備 考
令和3年4月14日	救 急 法 奉 仕 団 総 会 及 び 研 修 会	書 面 開 催
5月12日	青 少 年 赤 十 字 賛 助 奉 仕 団 総 会	〃
6月7日	水 上 安 全 法 奉 仕 団 総 会 及 び 研 修 会	〃
11月7日	赤十字救護救援奉仕団総会及び研修会	支 部 事 務 局
12月21日	看 護 奉 仕 団 総 会 及 び 研 修 会	書 面 開 催
12月21日	アマチュア無線奉仕団総会及び研修会	〃
12月22日	船 舶 奉 仕 団 総 会 及 び 研 修 会	〃
12月27日	バ イ ク 奉 仕 団 総 会 及 び 研 修 会	〃
令和4年1月17日	阪神大震災メモリアルアマチュア無線奉仕団通信訓練	徳 島 市
3月11日	東日本大震災メモリアルアマチュア無線奉仕団通信訓練	〃

5 青少年赤十字

青少年赤十字（JRC）は、児童・生徒が赤十字精神に基づき、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切にし、地域社会、国家・世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としている。



オンラインによる全国の青少年赤十字メンバーとのリーダーシップ学習会

新型コロナウイルス感染症の影響により、参集での研修や活動が行えない状況の中、オンラインを活用した学習会や勉強会、更には世界や全国の青少年赤十字メンバーとの交流を図り、青少年赤十字活動の活性化を図った。

(1) 青少年赤十字の加盟促進等

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標掲げる青少年赤十字の更なる普及を図るため、特に幼稚園への加盟を促進した。

① 徳島県の加盟校数、加盟メンバー数

校種別	加盟校数(校)		加盟メンバー数(名)					
	令和3年度	令和2年度	男		女		計	
			令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
幼稚園	24	13	728	458	727	484	1,455	942
小学校	166	163	16,477	16,607	15,629	15,607	32,106	32,214
中学校	84	84	8,477	8,775	8,125	8,332	16,602	17,107
高等学校	35	35	1,883	2,336	1,752	2,428	3,635	4,764
特別支援学校	12	12	576	618	269	328	845	946
計	321	307	28,141	28,794	26,502	27,179	54,643	55,973

② 令和3年度青少年赤十字加盟校一覧表

 令和3年度新規加盟校

令和4年3月31日現在

区分 郡市	幼稚園	小学校	中学校
徳島市	鳴教大附属・八万・上八万・助任・千松・沖浜シーズ・国府・沖州・入田・福島・ みのり認定こども園	内町・新町・佐古・富田・福島・城東・助任・津田・昭和・沖州・加茂名・加茂名南・八万・八万南・千松・大松・論田・方上・宮井・渋野・不動・上八万・一宮・入田・川内北・川内南・応神・国府・南井上・北井上・鳴教大附属	徳島・城西・富田・城東・津田・加茂名・八万・南部・不動・上八万・入田・川内・応神・国府・北井上・鳴教大附属・徳島文理・城ノ内中等教育
鳴門市		撫養・林崎・桑島・鳴門市第一・里浦・鳴門東・鳴門西・明神・大津西・堀江北・堀江南・板東・黒崎	鳴門市第一・鳴門市第二・鳴門・瀬戸・大麻・大麻広塚分校
小松島市		小松島・南小松島・北小松島・千代・児安・芝田・立江・櫛渕・坂野・和田島・新開	小松島・小松島南
阿南市	大野・富岡・加茂谷・横見・見能林	中野島・横見・富岡・宝田・大野・長生・見能林・津乃峰・桑野・山口・吉井・橘・福井・椿・伊島・新野・新野東・今津・平島・羽ノ浦・岩脇・椿泊	阿南・阿南第一・阿南第二・加茂谷・福井・椿町・伊島・那賀川・羽ノ浦・富岡東・新野
吉野川市		上浦・牛島・森山・飯尾敷地・知恵島・川島・学島・山瀬・鴨島・高越・ 西麻植	鴨島東・鴨島第一・川島・県立川島・山川
阿波市		御所・土成・久勝・伊沢・林・一条・市場・八幡・大俣・ 柿原	吉野・土成・市場・阿波

区分 郡市	幼稚園	小学校	中学校
美馬市	木屋平	江原南・江原北・脇町・岩倉・美馬・三島・穴吹・木屋平	江原・脇町・美馬・三島・穴吹・木屋平・岩倉
三好市		王地・芝生・箸蔵・池田・白地・馬路・三縄・山城・下名・辻・西井川・櫟生・吾橋・東祖谷	三野・池田・山城・井川・東祖谷・西祖谷
勝浦郡		生比奈・横瀬・上勝	勝浦・上勝
名東郡		佐那河内	佐那河内
名西郡		石井・浦庄・藍畑・広野・神領・高川原	石井・高浦・神山
那賀郡		鷺敷・相生・木頭・平谷	鷺敷・相生・木頭
海部郡		牟岐・日和佐・伊座利・海部・由岐・海南・穴喰	牟岐・日和佐・由岐・海陽・穴喰・由岐伊座利分校
板野郡	北島・神宅・高志・板野東・板野東大坂分園・板野西・板野南	長原・松茂・喜来・北島北・北島・北島南・藍住北・藍住南・藍住西・藍住東・板野東・板野東大坂分校・板野西・板野南・神宅・東光・松島・高志	松茂・北島・藍住東・藍住・板野・上板
美馬郡		半田・太田・貞光	半田・貞光
三好郡		足代・昼間・加茂・三庄	三加茂・三好

幼稚園24園（新規11園） 小学校計166校（新規3校） 中学校84校

高等学校	城東・城南・城北・城ノ内・徳島北・徳島市立・城西・城西神山分校・科学技術・徳島商業・徳島文理・徳島中央・小松島・小松島西・小松島西勝浦校・富岡東・富岡東羽ノ浦校・富岡西・阿南光・那賀・海部・鳴門・鳴門渦潮・板野・名西・川島・阿波・阿波西・穴吹・脇町・つるぎ・池田・池田三好校・池田辻校・吉野川	35校
特別支援校	聴覚支援・視覚支援・国府支援・池田支援・池田支援美馬分校・鴨島支援・ひのみね・阿南支援・鳴教大附属特別支援学校・板野支援・みなと・阿南支援学校ひわさ分校	12校

合計 321校

(2) 会議及び研修会

① 本社主催

開催年月日	行事名	備考
令和3年6月5日	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	WEB開催
6月29日	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	〃
9月30日	指導主事対象青少年赤十字研究会	〃
12月25日～26日	青少年赤十字スタディー・プログラム	〃

② 中・四国ブロック主催

開催年月日	行 事 名	備 考
令和3年10月22日	第5ブロック青少年赤十字指導者協議会長 並びに青少年赤十字事務担当者会議	W E B 開催

③ 支部及び指導者協議会主催

開催年月日	行 事 名	備 考
令和3年5月12日	青少年赤十字指導者協議会総会	書面開催
6月30日	リーダーシップ・トレーニング・ センター事前打合会（高等学校の部）	支部事務局
6月30日	リーダーシップ・トレーニング・ センター事前打合会（中学校の部）	支部事務局
7月13日	リーダーシップ・トレーニング・ センター事前打合会（中学校の部）	支部事務局
7月15日	リーダーシップ・トレーニング・ センター事前打合会（高等学校の部）	支部事務局
8月4日	リーダーシップ・トレーニング・ センター事前打合会（小学校の部）	板野東小学校
8月17日	リーダーシップ・トレーニング・ センター事前打合会（小学校の部）	板野東小学校
令和4年2月3日	青少年赤十字徳島県指導者協議会 役員・常任幹事会	W E B 開催
3月22日	青少年赤十字指導者協議会役員会	〃

④ 高等学校 JRC 協議会主催行事

開催年月日	行 事 名	備 考
令和3年6月19日	徳島県高等学校青少年赤十字協議会学習会	W E B 開催
11月7日	徳島県高等学校青少年赤十字協議会秋季学習会	〃

⑤ 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

集団生活を通して、赤十字や青少年赤十字に関する知識や技術を学ぶことにより、自主・自立の精神を身につけたリーダーを養成することを目的として実施した。

新型コロナウイルス感染拡大のため、中学校及び高等学校の部は中止となったが、小学校の部は日程を1日に短縮して実施した。

小学校の部は、これまでの研修施設から板野東小学校に会場を変更したことで、学校教育の中で培われてきた青少年赤十字に関する各種プログラムを効果的に実施することができた。

ア 月日・参加状況

校 種	実施年月日	参加校数 (校)	参加メンバー (名)	特別参加指導者 (名)	本部スタッフ	
					指導者	協助力員
小 学 校	令和3年 8月18日	24	38	18	7	3
中 学 校	新型コロナウイルス感染拡大のため中止					
高 等 学 校						



青少年赤十字について学ぶ児童

(3) 青少年赤十字国際支援学習の実施

青少年赤十字加盟校の児童に対し、紛争や貧困で苦しむ海外の同世代の子供たちの現状等を紹介する「国際理解・親善」に関する学習を実施し、自分たちができる支援等について考えることで、児童・生徒の世界の人道問題に対する理解促進と仲良く助け合う精神の醸成を図った。



支援を必要とする世界の子供たちの現状を学ぶ青少年赤十字メンバー

(4) 「青少年赤十字防災教育プログラム」を活用した防災教育の推進

授業ですぐ使える防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」を活用した防災教育プログラムを加盟校で推進し、児童・生徒の防災意識の高揚を図るとともに、「自分の命は自分で守ること」に注力した取り組みを推進した。



防災教材のワークに取り組む青少年赤十字メンバー

(5) 書き損じはがき収集活動実施状況

第27回受付分	受 付 枚 数	1,247 枚
	換 金 額	63,153 円
	協 力 校	国府幼稚園・川内南小学校・岩脇小学校・富岡東高等学校・みなと高等学園・鳴門教育大学附属支援学校・ひのみね支援学校・鴨島支援学校・池田支援学校美馬分校

※ 参考 第1回から第27回までの累計

受付枚数 49,521枚 換 金 額 2,246,629円

(6) 青少年赤十字活動資金（1円玉募金）

受 付 件 数	14 件
募 金 額	3,501 円
協 力 校	応神小学校、加茂名小学校、山口小学校、鳴門教育大学附属中学校、徳島中学校、城西中学校、高浦中学校、鴨島第一中学校、土成中学校、市場中学校、城西高等学校、徳島商業高等学校、徳島科学技術高等学校、鳴門教育大学附属支援学校

※ エコキャップ等換金分を含む

(7) 中古本等買い取りプログラム「キモチと」

換 金 物 品 数	18 点
換 金 額	439 円
協 力 校	見能林小学校

(8) 青少年赤十字優良児童・生徒表彰状況

校 種 別	学 校 数 (校)	メンバー数 (名)
小 学 校	4	8
中 学 校	3	6
高 等 学 校	13	20
計	20	34

6 国際活動

自然災害や紛争等による被災者・犠牲者を支援するために、日本赤十字社本社や中国・四国各県支部と連携した国際活動を展開した。

(1) アジア・大洋州地域に対する給水・衛生活動の支援

アジア・大洋州地域においては、洪水やサイクロン災害による被害が増大し、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっていたことから、中国・四国各県支部と共同で浄水器やタンク、水質検査キット、簡易トイレ用資材、衛生教育用文房具等をセットにした「給水・衛生キット」を配備するための援助を行った。

(2) 「海外たすけあい」キャンペーンの実施

世界各地で多発する自然災害や地域紛争等による犠牲者の緊急救援、及び開発途上国赤十字社の行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力を行うために、12月1日から25日までの間、NHKとの共催により海外たすけあい募金キャンペーンを実施した。

令和3年度「NHK海外たすけあい」の実績表

区分	件数(件)	金額(円)	(前年度)(円)	伸び率(%)	区分	件数(件)	金額(円)	(前年度)(円)	伸び率(%)
本 社	9,962	153,136,610	222,709,337	68.8	滋 賀 県	1,308	4,848,771	6,850,003	70.8
北 海 道	2,773	17,119,248	14,337,846	119.4	京 都 府	1,498	13,317,073	11,919,966	111.7
青 森 県	335	2,910,420	2,532,747	114.9	大 阪 府	3,579	30,603,287	31,331,766	97.7
岩 手 県	1,066	10,184,004	6,121,578	166.4	兵 庫 県	3,017	24,185,053	25,122,293	96.3
宮 城 県	1,130	9,115,340	8,046,784	113.3	奈 良 県	528	8,185,509	6,192,884	132.2
秋 田 県	456	3,347,113	2,843,329	117.7	和歌山県	1,495	7,534,326	6,857,528	109.9
山 形 県	383	3,697,565	2,768,207	133.6	鳥 取 県	231	2,499,048	2,413,696	103.5
福 島 県	898	9,883,923	8,806,576	112.2	島 根 県	1,386	3,197,943	3,422,217	93.4
茨 城 県	1,110	9,076,649	8,003,142	113.4	岡 山 県	747	9,083,011	7,029,968	129.2
栃 木 県	2,987	6,273,616	5,361,625	117.0	広 島 県	2,569	19,652,948	17,119,179	114.8
群 馬 県	953	6,649,049	7,170,004	92.7	山 口 県	1,568	8,828,844	7,889,031	111.9
埼 玉 県	2,639	22,411,252	20,177,077	111.1	徳 島 県	346	3,802,707	4,726,179	80.5
千 葉 県	2,776	22,194,513	19,229,980	115.4	香 川 県	869	4,515,374	3,354,709	134.6
東 京 都	4,276	63,157,351	64,604,374	97.8	愛 媛 県	1,220	5,665,142	5,322,735	106.4
神奈川県	3,609	38,362,857	33,100,771	115.9	高 知 県	902	2,885,261	2,303,347	125.3
新 潟 県	1,825	10,483,469	8,323,502	126.0	福 岡 県	3,203	18,942,763	15,771,196	120.1
富 山 県	1,172	13,732,939	11,954,344	114.9	佐 賀 県	443	4,114,420	3,787,461	108.6
石 川 県	833	6,516,539	7,740,972	84.2	長 崎 県	629	5,121,502	5,434,017	94.2
福 井 県	894	7,716,356	6,579,114	117.3	熊 本 県	2,412	6,330,697	7,618,873	83.1
山 梨 県	752	5,692,375	5,744,567	99.1	大 分 県	1,233	6,170,789	5,772,107	106.9
長 野 県	2,469	16,603,370	16,590,027	100.1	宮 崎 県	373	3,009,409	3,540,171	85.0
岐 阜 県	834	10,940,848	9,180,421	119.2	鹿児島県	784	4,908,849	5,578,324	88.0
静 岡 県	1,357	16,986,911	18,145,531	93.6	沖 縄 県	356	7,024,729	4,028,944	174.4
愛 知 県	5,251	40,124,617	37,003,015	108.4	合 計	83,379	720,882,194	750,388,183	96.1
三 重 県	1,943	10,137,805	9,926,719	102.1					

(参 考)

最近における「NHK海外たすけあい」の最終実績

平成23年度（第29回）	533,842,280円
平成24年度（第30回）	700,242,272円
平成25年度（第31回）	572,957,357円
平成26年度（第32回）	605,075,037円
平成27年度（第33回）	715,267,248円
平成28年度（第34回）	635,829,119円
平成29年度（第35回）	704,476,254円
平成30年度（第36回）	756,095,488円
令和元年度（第37回）	656,561,824円
令和2年度（第38回）	750,388,183円

Ⅳ 一般会計決算状況

1 総 括

区 分	当初予算額	補正予算額	計	決 算 額	予算額に比し増減
歳 入	202,763,000 ^円	37,721,000 ^円	240,484,000 ^円	245,604,938 ^円	5,120,938 ^円
歳 出	202,763,000	37,721,000	240,484,000	185,307,314	△55,176,686
歳入歳出差引繰越額			60,297,624円		

(1) 歳 入

科 目	令和3年度 決 算 額	令和2年度 決 算 額	増 減	対前年度比
1 支 部 収 入	245,604,938 ^円	236,861,122 ^円	8,743,816 ^円	103.7%
(1) 社 資 収 入	177,149,730	187,901,167	△10,751,437	94.3
(2) 委 託 金 等 収 入	663,252	121,402	541,850	546.3
(3) 補助金及び交付金収入	1,948,572	2,439,542	△490,970	79.9
(4) 繰 入 金 収 入	18,965,176	142,500	18,822,676	13,308.9
(5) 雑 収 入	284,802	467,176	△182,374	61.0
(6) 前 年 度 繰 越 金	46,593,406	45,789,335	804,071	101.8

(小数第2位四捨五入)

(2) 歳 出

科 目	令和3年度 決 算 額	令和2年度 決 算 額	増 減	対前年度比
1 支 部 費	185,307,314 ^円	190,267,716 ^円	△4,960,402 ^円	97.4%
(1) 災 害 救 護 事 業 費	7,754,275	12,035,251	△4,280,976	64.4
(2) 社 会 活 動 費	22,494,088	24,384,340	△1,890,252	92.2
(3) 国 際 活 動 費	771,520	789,004	△17,484	97.8
(4) 地区分区交付金支出	10,462,399	11,089,196	△626,797	94.3
(5) 社 業 振 興 費	21,589,110	24,430,843	△2,841,733	88.4
(6) 基盤整備交付金・補助金支出	5,748,000	17,420,000	△11,672,000	33.0
(7) 積 立 金 支 出	58,576,609	39,601,800	18,974,809	147.9
(8) 総 務 管 理 費	28,629,189	27,673,459	955,730	103.5
(9) 資産取得及び資産管理費	3,009,665	4,958,648	△1,948,983	60.7
(10) 本 社 送 納 金 支 出	26,272,459	27,885,175	△1,612,716	94.2

(小数第2位四捨五入)

2 社会福祉施設特別会計（本部会計拠点区分）決算状況

(1) 総 括

区 分	当初予算額	補正予算額	計	決 算 額	予算額に比し増減
収 入	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円

区 分	当初予算額	補正予算額	計	決 算 額	不 用 額
支 出	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円

収入支出差引額 0 円

(2) 前期末支払資金残高

前期末支払資金残高	0 ^円
-----------	----------------